

一般社団法人日本珠算連盟 暗算検定試験受験者への注意

昭和49年 4月 1日制定  
昭和54年 4月 1日改正  
昭和63年 4月 1日改正  
平成 3年 4月 1日改正  
平成15年 3月29日改正  
平成24年12月 1日改正  
平成26年12月 1日改正

1. 答案記入上の注意

- ①答は、定められたらんの中に、はっきりと書くこと。
- ②答をたてに書いたり、二段に書いたりしないこと。
- ③答を書き直す場合、定められたらんの中に書けないときにはらん外に書いて、答の頭にその問題の番号を○または（ ）でかこむか、そのらんまたはその問題と矢印で結んで書くようにすること。
- ④答を二つ以上書いたりしないこと。

【1・準1・2・準2・3・準3級】

- ⑤答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。
- ⑥答の1の位以上には、3位ごとにコンマ「，」をつけること。
- ⑦コンマは、数字のあいだに書き、数字にふれたり、数字にかさならないようにすること。
- ⑧同じ数字やコンマでも二重に書いたり、なぞったりしないこと。

【4～10級】

- ⑨答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。

2. その他の注意

【1級～10級共通】

- ①計算開始の合図があるまでは、文ちん・下敷きなどを用いて、計算の準備をしないこと。
- ②計算開始の合図があるまでは、問題を開かないこと。
- ③アラーム時計を使用するときは音を出さないようにすること。
- ④受験票を紛失したり、忘れてきたような場合は、試験当日、試験開始前に再交付を受けて受験すること。
- ⑤携帯電話の電源は完全に切れるようにしておくこと。

付 則

この注意は、平成3年 4月1日から実施する。

付 則

この注意は、平成15年4月1日から実施する。

付 則

この注意は、平成25年4月1日から実施する。

付 則

この注意は、平成26年4月1日から実施する。